

子供も地域も輝くクリティー・スクール ～自ら開こう 未来の扉～

広島県府中市		●活動名			●関係する学校名	
栗生小学校学校運営協議会					府中市立栗生小学校	
協働活動開始年度	平成 27 年度	学校運営協議会	指定・設置日 平成27年4月1日設置	地域学校協働本部	無	
活動区分	学校支援活動		地域課題解決学習	地域人材育成		
	放課後子供教室					
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		
	—		—	1人		
ボランティアの数	延べ登録人数 358人	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無	
参考URL	http://edu.city.fuchu.hiroshima.jp/~kuribu-shou/					
●連絡先	府中市教育委員会学校教育課		☎ 0847-43-7178			

● 活動の概要・経緯 平成27年4月、学校運営協議会が設定され、「自ら開こう 未来の扉」をコンセプトに学校、家庭、地域が「子供を育てる」という共通目標をもち、取組を進めてきたコミュニティ・スクール。あらゆる角度から子供達が輝くことのできる「チャンス」という光を当てることによって、全ての子供たちに自己達成感を味わわせる様々な活動に取り組んできた。その結果、学習支援等の地域ボランティアの数も年々増加し、令和元年度に学校教育に携わった人は、延べ2,233人にのぼる。
多くの地域の方が教育活動に関わり、米作り、読み語り、昔遊び等の授業補助やサマースクールでの補助的な学習支援、放課後子供教室における季節の行事に係る遊びや体験活動を実施しているが、平成30年度から「広げようあじさいの街～あじさい祭り盛り上げ隊～」や「栗生の町を守り隊」のカリキュラム開発を行い、地域の方々と連携した課題発見・解決学習に取り組んでいる。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

子供たちは、「あじさい祭り盛り上げ隊」の学習として、地域にある「あじさい寺」の草取りや学校にあじさいを植え、ボランティアの人へ教えてもらいながら、剪定、水やり等の世話をするとともに、実際に祭りに出向いて、来ている人にあじさいのことを説明したり、学校運営協議会が主催したあじさい絵画コンクールに参加したりした。このことにより、郷土愛が育つとともに、地域のために自分たちができることを考えて、実行する力がついた。

また、防災学習「栗生の町を守り隊」では、子供たちが防災士をはじめ町内会長や地域の方と一緒に西日本豪雨前に作成した防災マップと実際の被害の状況を比べながら実地調査をして最新の防災マップを作成し、全校児童と保護者・地域の方に発表した。

【実施に当たっての工夫】

- 持続可能な取組にするために、各活動を教育課程に位置づけることで、年々、取組を深化させている。
- 各活動の様子をSNSを使い、リアルタイムに発信することで、多くの保護者や地域の方が学校の取組に関心をもち、ボランティア増加につながった。

【関係機関・団体等との連携状況】

- 学校運営協議会において、各活動の報告を行い、成果・課題を共有し、次の活動につながるアイデアを出し合っている。その結果、子供の学びを教室の中で閉じるのではなく、社会とのつながりを意識した学びを実践することができている。
- 放課後子供教室の実施場所である公民館の職員が学校運営協議会委員を兼務することで、活動について学校運営協議会と共有することができている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 地域の方が多くの教育活動に参加し、子供たちと関わり、あらゆる角度から評価することで、子供一人一人が地域の一員としての自覚を持ち、様々な活動に自信をもって取り組むことができるようになった。
- 平成31年度全国学力学習状況調査児童質問紙において、「今住んでいる地域の行事に参加していますか?」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることができますか?」の肯定的回答の割合が、それぞれ90.4%(全国平均+22.4)、61.9%(全国平均+7.4)と本取組の成果が表れている。

● その他

夏休みに「栗ティ・サマースクール」を地域の方が中心となって実施し、子供たちの夏休みの宿題等の学習支援を行っている。



剪で一
定、広
を子げ
行供よ
つ自う
てらあ
い、じ
るあさ
様じい
子さの
い街のー



調査学習の
栗生の子
で、町を守
災害場所の
の実防